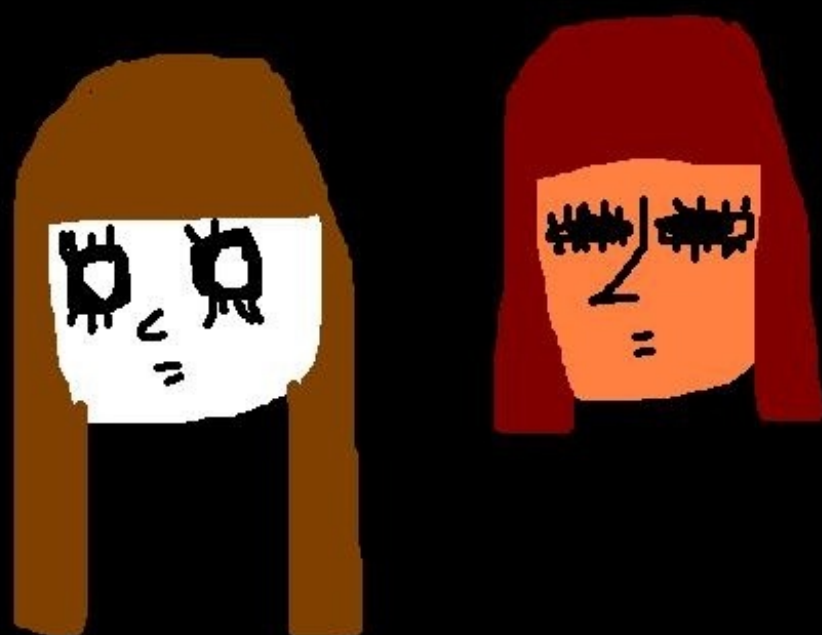


こやまさんと
かとうさん



こやまさんとかとうさん

こやまさんと

かとうさんは

だいの なかよしです。

どこへいくにも

ふたり なかよく でかけます。

こうえん

ふたりがでかけた こうえんで

きれいな おはなを 見つけました。

ねえ、かとうさん きれいな おはなね。

こやまさんは いいました。

ええ、そうねえ こやまさん。

ねえ、かとうさん これは なんていう なまえ？

こやまさんは ききました。

かとうさんは、その おはなの なまえを しりませんでした。

すこしの ちんもくのあと

また ふたりは あるきだしました。

じんじゃ

その後ふたりは

じんじゃへいきました。

とりいをくぐるのはいけないと

まわりのひとからいわれていたので

ふたりはそうと

とりいのそとがわから

じんじゃにはいりました。

おさいせんばこに

おさいせんをいれようとして

こやまさんがかとうさんをみたとき

すこしかとうさんのかおが おうどいろになっていました。

こやまさんはみなかったことにして

おさいせんを いました。

いちにちのおわり

そろそろよるがちかづいてきました。

こやまさんとかとうさんは

ふたりなかよくおまつりにでかけました。

そのころにはもう

かとうさんのかおには

けっかんがういているじょうたいでしたが

こやまさんはみてみぬふりをしていました。

ねえかとうさん、このおまつりはなにまつりなんでしょうねえ。

こやまさんはかとうさんにききました。

かとうさんはなにのおまつりかしらなかつたのでだまっていました。

ねえかとうさん、かみさまはいるのかしらねえ。

かとうさんはとうとうおうどいろのかおでいいました。

こやまさんは、そうやってすぐわたしにはなしをふる。

こやまさんはびっくりしました。

かとうさんはおこっていたのです。

おこっておうどいろになって

けっかんがういていたのです。

こやまさんはいいました。

わたしは、かとうさんをしんじているから はなしをふるのよ。

かとうさんはびっくりしました。

しんじている、だなんて こやまさんの くちから でてくると おもわなかったのです。

りゆうがわかった かとうさんは おいおいと ないてしまいました。

そのよこで こやまさんは めんちかつを たべていました。

なきおわった かとうさんが こやまさんを見ると

もはやるっこめの めんちかつを たべている ところでした。

しばらくかとうさんがしんださかなのようなめでみつめていると

たべおわったこやまさんがかとうさんにむかってにっこりとほほえみしました。

そのはぐきからはちがながれていました。

そしてふたりなかよくてをつないでかえっていきました。